

～大人の風しんが流行！あなたには抗体がありますか？～

風しんは、風しんウィルスの飛沫感染によって発疹、発熱、耳の後ろなどのリンパ節の腫れが起こる感染症で、成人の場合は関節痛を伴うこともあります。今の小児は定期接種しているため、**流行の中心はワクチンを接種していない大人です。**潜伏期間は2-3週間、他の人にうつす期間は発疹の出る2、3日前からなので、無自覚のまま他人にうつしている場合があります、感染力はインフルエンザの5倍と言われています。**風しんになったことがなく、ワクチンを1回も受けたことのない人や、不明確な人は予防接種を検討しましょう。**

◆妊娠中の女性がかかると、赤ちゃんに影響が！

妊娠初期に風しんにかかると胎児に影響します。先天性心疾患、難聴、白内障の3大症状のほか、網膜症、肝脾腫、血小板減少、糖尿病、発育遅滞、精神発達遅滞、小眼球などの障害が報告されています。**妊娠中は予防接種を受けられませんので、抗体のない方は妊娠前に予防接種を受けておく必要があります。同時に妊娠する可能性のある女性のご家族や職場の同僚など、抗体のない方すべてに予防接種がすすめられます。**周囲の感染予防対策が赤ちゃんを守ります。

◆特に30代～50代の男性はワクチンで予防を

現在、30～50代の男性は、子供のころに予防接種を受ける機会が少なく、感染しやすくなっています。自分自身の感染予防だけでなく、ほかの人にうつさないためにも抗体検査・予防接種を受けましょう。

※厚生労働省は2018年12月11日、風しんの感染拡大を防ぐため、2019年から3年間、昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性を対象に、風しんの抗体検査を行ったうえで定期接種を行うと発表しました。

◆抗体検査や予防接種をうけるには？

かかりつけ医や居住地の保健所、自治体にお問合せください。自治体によっては、一定条件のもと抗体検査や予防接種費用を助成しているところがあり、自治体ホームページで調べることもできます。

●厚生労働省「風しんについて」

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/index.html

以上